

「平成29年度防犯ポスター・作文」入選者及び最優秀作品等の発表

広島県防犯連合会が「全国地域安全運動」にあわせて中・高校生から防犯ポスター、中学生から防犯作文の募集を行ったところ、ポスター1, 243点、作文2, 281編の応募がありました。優れた作品を選び、入選者に表彰状と記念品を贈りました。最優秀賞作品等は次のとおりです。

入選者は以下のとおりです。

◎ ポスターの部

(敬称略・順不同)

地区防連	入 選 者			課 題	備 考
	学 校 名	学年	氏 名		
福山北	広島県立神辺旭高等学校	3 年	岩田 愛里	自転車盗の防止	最優秀賞
安芸高田	安芸高田市立美土里中学校	3 年	粟津 蒔乃	子ども被害の犯罪防止	優秀賞
尾道	広島県立尾道東高等学校	3 年	白尾 春奈	特殊詐欺の防止	優秀賞
広島西	広島市立庚午中学校	3 年	日高 ひより	盗難の防止	優秀賞
尾道	尾道市立長江中学校	3 年	吉本 翔陽	薬物乱用防止	優秀賞
呉	呉市立倉橋中学校	1 年	沖 陽向	空き巣などの盗難の防止	佳 作
安佐北	広島市立三入中学校	3 年	齊木 幸也	薬物乱用防止	佳 作
海田	広島市立矢野中学校	2 年	庄垣内 悠里	特殊詐欺の防止	佳 作
呉	呉市立昭和北中学校	2 年	西口 公基	万引きの防止	佳 作
呉	呉市立昭和北中学校	3 年	安竹 美結	特殊詐欺の防止	佳 作

◎ 作文の部

地区防連	入 選 者			題 名	備 考
	学 校 名	学年	氏 名		
東広島	東広島市立西条中学校	1 年	川崎 梨央	自分で自分を	最優秀
安佐北	広島市立広島中等教育学校	1 年	大谷 麻緒	気付ける形	優 秀
竹原	竹原市立忠海中学校	2 年	中野 愛	詐欺は減らせるのか	優 秀
呉	呉市立郷原中学校	1 年	嶋崎 美月	一番大切なのは笑顔になる事	優 秀
呉	呉市立広中央中学校	3 年	池田 滉成	経験から学んだ事	優 秀
江田島	江田島市立大柿中学校	2 年	山下 瑠唯	薬物乱用を少なくするためには	佳 作
大竹	大竹市立大竹中学校	1 年	瀬土 琴美	身近にひそむ犯罪、非行への誘惑	佳 作
東広島	東広島市立中央中学校	3 年	江角 優里	特殊詐欺被害をなくす	佳 作
呉	呉市立和庄中学校	1 年	悦喜 諒真	身近な詐欺	佳 作
呉	呉市立和庄中学校	3 年	村岡 祐輔	身の回りに潜む危険	佳 作

最優秀賞作品等の発表！

○ ポスターの部作品

(敬称略・順不同)

○最優秀賞

広島県立神辺旭高校 3年 岩田愛里



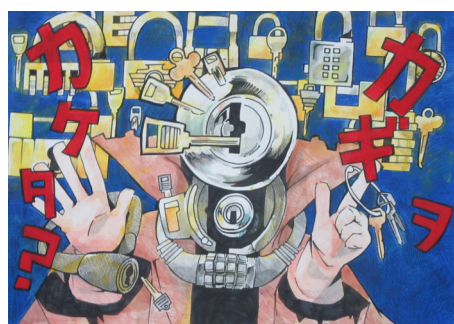
○優秀賞

安芸高田市立美土里中学校 3年 粟津蒔乃



○優秀賞

広島市立庚午中学校 3年 日高ひより



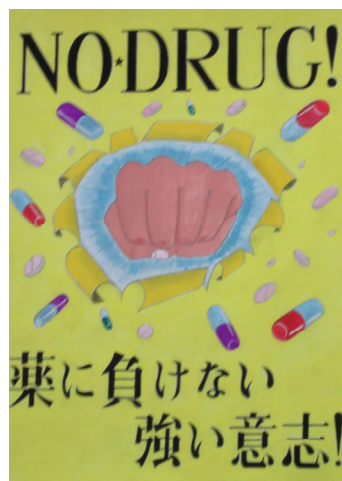
○優秀賞

広島県立尾道東高校 3年 白尾春奈



○優秀賞

尾道市立長江中学校 3年 吉本翔陽



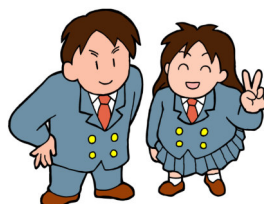
○ 作文の部作品

最優秀賞

一自分で自分を一

東広島市立西条中学校 1年

川崎 梨央



「今日、〇〇県、〇〇市で殺人事件がありました。今日の朝、そんなニュースが流れていました。毎日まいにち、犯罪のニュースが流れています。殺人、強盗、放火、詐欺、暴行など、他に多くの犯罪のニュースが流れています。どのニュースもいやですが、特に子どもが被害者の場合は耳をふさぎたくなってしまいます。その子たちがどれだけの怖い思いをしたのかは、想像もつきません。今は客観的にみてますが、自分が被害者になる可能性は、この日常の中にあふれかえっています。友だちと遊んでいて誘拐されるかも知れない。鍵を閉め忘れて家の中に強盗が入って来かも知れない。お店の中でテロに巻き込まれるかも知れない。他にも犯罪に巻き込まれることはたくさんあると思います。犯罪にあわないようにするために私たちは防犯対策をしています。

簡単な防犯対策は、鍵をかけたのを確認したり、なるべく一人で歩かないようにしたり、見知らぬ人と話

さないようにしたり、玄関にライトを付けておいたり、色々な方法があります。最近では防犯グッズも出たりしています。勝手に鍵を閉めてくれる機械や防犯カメラが侵入者を感じたらサイレンを鳴らしたりなど、とても技術が進歩しています。これなら少しは犯罪に巻き込まれる可能性が少なくなるはずです。それに防犯対策をしていれば犯罪者は寄ってきません。捕まるかもしれない、捕まったらどうしよう、と思うはずですが、そんなリスクを負ってまで犯罪者はついてきません。防犯対策はとても大事なことです。私はそのおかげで助かったことがあります。小学四年生のときのことです。ピアノ教室でお母さんを待っていましたが、いつになってもお母さんが来ませんでした。連絡してみると仕事が長引くので先に帰ってと言われました。冬の夕方だったのでそれなりに暗かったです。時間も遅かったなので、近道を通っていくことにしました。しかし、近道は人気が少ない、とても細い道でした。そのときは全然気にしていませんでしたが、今なら絶対に通らないと言っていいほど暗くて人気が少なく、とても心細かったです。

その近道を歩いていると、少し離れて後から誰かが付いてきている気がしました。最初は不審者とか思わず、普通の人だと思っていました。しかし、十分くらいたってから不思議に思いはじめました。けっこう歩いているのに全く同じ道なんて絶対おかしい、不審者じゃないのかな？、と思いはじめました。そういうこ

とを考えると、とても怖くなりました。もし、走ってきたらどうしよう、家までついて来られたらどうしよう、不安がつもっていきました。このとき、防犯ブザーを持っていることに気がつきました。もし、本当に何もなく、偶然、道が同じだったらとても失礼です。でも、そんな心配より、怖い、早くどっかに行って欲しい、イヤだ、という思いの方が強かったです。

私は、ランドセルに付けていた防犯ブザーのひもを思いっきり引っ張りました。この瞬間、大きな音が鳴り響きました。ビービービービー。その大きな音の中に、とても小さいけど、タッタッタツという音が聞こえました。まさか、追いかけて来たのか。そう思って後をふり向くと、反対方向に走っていく黒いジャンパーの男の姿が見えました。あの男の人は防犯ブザーの音を聞いて、走っていった。ということは、やっぱり。そう思うと心臓がドクドクしました。全然、ドクドクが止まりませんでした。足もカクカクとふるえ、全身の毛穴から汗がふわっと出た感じがしました。手が汗でベッチョリぬれたのを今でも覚えています。その出来事があってから、私は学校でも、友だちと遊ぶときも、常に防犯ブザーをカバンの中に入れていました。ピアノの帰りもお母さんと帰って、どうしても一人のときは、人気の多い大きな道を通って帰りました。

今は大丈夫ですが、小学四年生のころは、全然、知らない人が後に立ったら急いで離れていました。十三年間生きてきて、一番怖かったことだと思います。

私は自分で経験しているので、特に防犯対策は大切だと思えます。あのとき、もし、防犯ブザーを持っていなかったらどうなっていたでしょう。想像するのも怖いです。私が防犯ブザーを持つという防犯対策をしたので、犯罪にあわなくてすんだのです。もしかしたら、これから、これまで以上に怖いことが起こってしまうかもしれない。その可能性を少しでも減らすためにも、自分たちで自分たちを守るためにも、防犯対策をすすんでするのです。